

ナジラーネ

改題 高齢協「会報」

発行

〒950-0965

新潟県退職者連合

新潟市中央区新光町6-2

TEL 025-281-5454

FAX 025-281-5456

介護保険制度にかかわる自治体要請を徹底しよう

第1回幹事会で確認

県退職者連合は、第1回幹事会を9月5日開催し、「本年度の自治体要請行動」、「今後の高齢協の組織・運営方法等」「ホームページのコラム」等について、協議確認しました。

自治体要請行動については、地域で自らが参画し制度の充実を図れる課題として、地域役員が研修を深めながら「地域包括ケアシステム」介護予防や日常生活支援の「総合事業」について、中央退職者連合の「指針」を軸に要請内容をまとめることとしました。また、要請の時期については、11月に開催予定の地域組織の会長・事務局長も交えた第2回、拡大幹事会で確認した後、県内20市への要請行動を展開することとしました。

「今後の高齢者協議会の組織・運営方法等」では、「地域協議会」、「事務所にあり方」について、地域組織の名称を「〇〇地域退職者連合」とすることを確認するとともに、県退職者連合の事務局を勤労福祉会館3階の8.7坪（現12.5坪）に移転することも



確認しました。移転時期は、明年3月を想定しています。「退職者連合」への名称変更に伴い、県及び地域組織の旗、のぼりを作成することとしました。

最後に「新潟ろうきんシニア倶楽部」への対応として、当面、同倶楽部の支部と各地域組織が連携を深め、同支部で企画される様々な行事に地域組織としても積極的に関与していくこととしました。

「地域や人とのつながり」アンケートに協力ください

連合大学院・労働組合プログラムでは「労働組合と社会とのつながり」について調査研究を進めています。ボランティア活動や近所の付き合いなどを調査し、今後の労働組合活動の参考となる資料作りを

しています。

連合大学院は、法政大学と連合、日本労働文化財団が連携し、2015年4月より、法政大学大学院に新たに設置した修士課程プログラムです。調査は連合本部の田村氏が行っています。是非ご協力をお願いします。アンケートは、ホームページの「2016年度資料」にアップしてあります。メールで回答を！

上越地域退職者連合 総会

優遇を望まず公平公正を

上越地域高齢協は、9月2日、第22回定期総会を開催しました。

活動報告では、介護保険事業にかかわり地域包括ケアシステム・新総合事業に対する行政への質問と回答等について詳細に報告されました。運動方針では、「優遇を望まず公平・公正を求める」活動指針を確認した上で、地域包括ケアシステム、新総合事業、特養入所指針、県による国保財政運営等の方針を確認しました。

県退職者連合の名称変更に伴い、規約改正を行い「上越地域退職者連合」として出発しました。

全職場でシニア組織をつくろう

JAMシニアクラブ 総会

JAM新潟シニアクラブは、9月28日、長岡市で第15回定期総会を開催し、組織拡大を含む活動方針を確認しました。

組織拡大について、新潟では345人も組織拡大が進んだことをふまえ、5%の組織拡大を目標として、シニア組織のない単組には「シニア組織」をつくること、シニア会員がいない単組では「最低でも一人の参加をもとめていく」取り組みを進めることとしました。また、「連携強化懇談会」を開催し、現役組織の支援、協力を得ながら進めることとしました。

未組織単会の組織化を！

越後交通労組高退会 総会

越後交通労組高退会は、9月8日、第40回定期総会を開催し向こう1年間の運動方針を確認しました。

報告では、10地区の「地区別交流会」の実施状況をはじめ県及び地域の退職者会への参加や内容等について報告されました。

活動方針では、県退職者連合の仲間との連携しながら、具体的なものとして、年金・医療・介護・福祉活動、会員相互の交流と親睦、地区別交流会、情報誌の発行などが確認されました。

また、県退職者連合のホームページへのアクセスも呼びかけました。

第11回定期総会（解散総会）

新潟地域退職者連合南部支部 総会

新潟地域高齢協南部支部は、10月25日、秋葉区で第11回総会（解散総会）を開催しました。

下越地域高齢協として発足し、平成大合併で「阿賀南地域高齢協」「新潟地域高齢協南部支部」としてこれまで活動を進めてきた経緯が紹介され、「南部支部」としては今回をもって解散することを確認しました。今後の方針として、新潟地域退職者連合に編入し、活動を展開していくことを確認しました。

交流会では、市町村合併で組織の変遷を余儀なくされた経験を肴に議論が進みました。

経過措置・予約会員から本会員

全港湾退職者の会 総会

全港湾新潟支部退職者の会は、10月23日、中央区で第41回総会を開催しました。

活動報告では、現役組合の方針をもとに平和や選挙等の取り組みを進めてきたことが時系列に報告されました。

今後の取り組みでは、上部組織である「日本海地方退職者の会」の総会での議案をもとに進めることとし、直江津や伏木、七尾、敦賀、舞鶴、境港の各支部の活動を共有しました。組織拡大では、現役組合支部との意見交換を年数回行い、思疎通を図り一体感をもって、進めることとしました。また来年、日本海地方定期大会で70周年記念式典が予定され全員参加することとしました。

経過措置・予約会員から本会員

下越地域退職者連合 総会

下越地域高齢協は、10月28日、新発田市で第19回定期総会を開催しました。

活動報告では、春・夏2回の囲碁大会の開催や勤労者の生活をサポートするライフサポートセンターへの協力などの報告がなされました。

活動方針では、毎年実施している囲碁大会、年金・介護・医療などの学習会の開催などを確認するとともに、地区労福協やライフサポートセンターへの協力と連携等も提起され方針化されました。

また、規約の改正も行い、名称を下越地域退職者連合と確認しました。

